



秀峰筑波

コミュニティ・スクール



秀坊くん

(本校のイメージキャラクターです)

秀峰筑波義務教育学校

学校便り【第3号】

令和 6年 5月 21日

文責：教頭 小野裕子

シン・伝統校

2か月ほど前、私は保護者の一人として本校の卒業式に参列していました。厳粛さと気品のある、すばらしい式典でした。ただ一つ疑問に思うことがありました。在校生の送辞にあった「伝統を受け継ぎ」という言葉です。開校してまだ6年の学校に伝統？

本校に赴任し、その疑問はみるみるうちに解けていきました。

衝撃的だったのは4月19日、前期課程の児童生徒会役員が中心となって実施した「新入生歓迎会」。2年生から6年生まで、学年ごとに全員で歓迎の言葉が送られました。体育館いっぱいの子供たちの声が響き渡りました。卒業式の「呼びかけ」をたくさん練習し、こんなに上手にできるようになったのだろうな、と感心しました。しかしすぐに、秀峰では前期課程の児童は卒業式に参加していないことに気がきます。そもそも、みんなが集まってのこのような会をやるのは4年ぶりとのこと。それなのにこの完成度の高さはいったいどういうことだ。



校歌斉唱も圧巻でした。何と1年生も元気よく歌っています。この後の「校長先生のお話」の中で、尾見校長先生もこの光景への驚きを子供たちに語っていました。

私は校長先生の驚きと感動の話を聞きながら、これが秀峰の伝統の力か!?!とと思いました。

この日の朝の会でも素敵な場面に遭遇しました。校歌を歌い終えた1年生が「この歌、とっても好き!」「わたしも好き!」と、つぶやいていたのです。

校舎2階の廊下の柱には、統合前の7小学校・2中学校とともに、ひと足先に閉校している筑一小、大形小、山口小も合わせて、12校の校歌が記されています。

秀峰は、この12校の伝統を受け継いでいるのだ。確かに、柱に記された校歌を口ずさんだり、話題にしたりする子は見かけることはない。でも、「この歌(秀峰の校歌)大好き!」という1年生、体育館に響き渡る歌声や呼びかけに、150年に及ぶ伝統を感じずにはられませんでした。

5/22(水)に前期課程、5/31(金)には後期課程の「秀峰大運動会」を開催します。児童生徒会は、次のスローガンを掲げています。

燃える心 高まる鼓動 そして受け継ぐ伝統 千人の花よ 咲き乱れろ

「シン・伝統校」として、新たな伝統が築かれていきます。

(副校長・鈴木 剛)

吹奏楽部、オープニングで歓迎の演奏

前期課程の児童による新入生歓迎会でしたが、後期課程の生徒たちを代表する形で吹奏楽部員がオープニングに参加しました。忍たま乱太郎の主題歌「勇気100%」を演奏し、華やかに歓迎会のオープニングを飾りました。義務教育学校ならではの光景です。

1年生はもちろん、全児童の手拍子が加わって、会場全体が一気に一体感に包まれました。





秀峰筑波

コミュニティ・スクール



秀坊くん

(本校のイメージキャラクターです)

秀峰筑波義務教育学校
学校便り【第4号】
令和6年6月24日
文責：小野裕子

秀峰大運動会 ～5月22日前期課程、6月4日後期課程～



「燃える心 高まる鼓動 そして受け継ぐ伝統
千人の花よ 咲き乱れろ」のスローガンのもと
前期課程と後期課程の2回に分け、第7回大運動会が行われました。特に前期課程の6年生、後期課程の9年生の頑張りがすばらしく、秀峰のリーダーとして、着実に成長していることを感じました。

2・4・6年つくばね学（小・高の交流活動）

本校では毎週金曜日の5・6時間目に、「つくばね学」という小・高の交流活動を行っています。幼・小や小・中の交流はありますが、小・高で継続的な交流は、特色ある活動です。筑波高校生12名が訪れ、学習サポーターとして約1年間児童に関わり続けます。地域とのつながりを大切にする本校と筑波高校のねらいが一致し、行われている活動です。分からない所をすぐに聞きやすいなど、児童は高校生との交流を楽しみにしていました。



放課後の電話や忘れ物対応について（お願い）

本校でも教職員の長時間勤務が課題となっており、働き方の見直しを進めています。ご不便をおかけする場合もあるかと思いますが、ご協力をお願いします。

【電話対応】 平日の午後5時30分まで。 ※朝は午前7時30分より。

※部活動のある日、生徒下校後の1時間は、留守電にしません。

下校中の緊急時に備えての対応です。他はなるべく午後5時30分までをお願いします。

【忘れ物対応】 平日の午後5時30分まで。 ※土日は対応できません。

※代替えできるものは、代替えで済ませていただけるようお願いいたします。鍵や薬など、代替えできないものは、午後5時30分までをお願いします。